

2016年7月1日
51号

かけはし

ひたちなか総合病院広報誌

発行所 株式会社製作所ひたちなか総合病院
〒312-0057
ひたちなか市石川町20番1
TEL 029(354)5111
発行人 飯嶋和秀
編集 広報委員会
<http://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachinaka/index.html>

【ひたちなか総合病院理念】

「地域を護る病院」として説明責任を基本とした最新の技術とサービスを提供し患者さんが納得・満足される医療を遂行する

【ひたちなか総合病院基本方針】

「地域の皆さまの信頼と満足が私たちの生きがいです」のもとに、①急性期から回復期までの一貫した医療を充実させて地域完結型医療を推進する②教育・研修を充実させて最新の医療技術を確認し、職員満足を向上する③説明責任と最良のサービスを遂行し、患者満足を向上する④質を基盤とした総合的医療の質経営を実施し、持続成長可能な病院にする を実践する。

【2016年度品質目標】

・地域医療構想・地域包括ケアシステムを検討・準備・実行する・マスタープランを含めた中期計画（2016～2018年度）を作成する・真因を極めPDCAを回すことを職員の業務の基本とする・医療安全対策の充実に基づく安全風土の醸成を図る・院内全体の問題とした各部署・分野の教育・研修態勢を確立する・データ管理に基づく質・安全・経営態勢を構築する・緩和ケアを含めたがん診療連携拠点病院機能を充実する・退院支援を含めた地域医療支援病院機能を充実する・財務諸表管理を含めた持続成長可能な病院運営する

ごあいさつ

院長 永井庸次



梅雨空の合間、快晴の日が続くこの頃ですが、皆様方はいかにお過ごしでしょうか。

病院は4月に診療報酬改定があり、その対応とその影響軽減に奮闘して

おります。4月は医師等の異動、看護師等職員の新規採用時期という業務多忙の中、2年に1度の診療報酬改定という経営に多大な影響を及ぼすイベントが重なることから、医療界にとっては憂鬱な時期であります。

当院も例年通りに新規の医師、看護師、リハスタッフ等希望を新たに入職してきましたが、一方ではベテラン医師の異動も重なりました。消化器内科では間宮、曾野両先生が異動、開業され、整形外科も藤崎先生が異動されました。何よりも、脳外科医として長年回復期リハビリ病棟を管理していただいていた伊藤先生が年初めにお亡くなりになり、ここで改めてお悔み申し上げる次第です。伊藤先生の後任としては、7月から佐々木先生の赴任が決まっておりますし、リハビリ専門医の先生方3名による週2回の定期的な回復期リハビリ病棟管理の他、

常勤のリハビリ専門医師の先生も予定しております。これらにより、今後今まで以上に脳外科、リハビリ医療が推進していくものと期待しております。

呼吸器内科も筑波大学からの派遣されておりました寺本先生の異動に伴い、山田先生が赴任されましたし、4月から形成外科も内山先生が常勤医となられ、東京女子医大からの非常勤医師と一緒に外来、手術を実施する態勢となっておりますので、宜しくお願ひしたいと思います。

また、産科医が渡辺、小林両先生による2名態勢に4月からなり、必要助産師の確保もできたことから、この間休診しておりました産科に関しましては、準備が整い次第、順次助産師外来、院内助産等を開始していきたいと思っております。この件に関しましては、随時病院内外に広報していく予定ですので、是非、皆様方のご支援のほど、宜しくお願ひいたします。

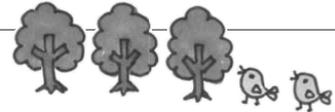
最後に、この1～2年の間に、地域医療構想、地域包括ケアシステムとして、今後10年、20年の皆様方の、在宅、緩和ケア等を含む医療、介護の大枠の仕組みが決まろうとしています。当院はこの地域の地域医療支援病院・基幹病院として、皆様方と一緒に、行政を含めて連携の輪を構築していきたいと考えております。今後共にご支援のほど、宜しくお願ひ申し上げます。

ひたちなか総合病院・総合健診センター休日のお知らせ

	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土	
							②								⑥								③	
7	③	4	5	6	7	8	⑨	8	⑦	8	9	10	11	12	⑬	9	④	5	6	7	8	9	⑩	10
月	⑩	11	12	13	14	15	⑯	月	⑭	⑮	⑯	17	18	19	⑳	月	⑪	12	13	14	15	16	⑰	月
	⑰	⑱	19	20	21	22	⑳		㉑	22	23	24	25	26	㉗		⑱	19	20	21	22	23	⑳	
	㉘	25	26	27	28	29	⑳		㉘	29	30	31					㉘	26	27	28	29	30		

■はひたちなか総合病院休日 ○は総合健診センター休日

院内助産開設のお知らせ



院内助産とは？

当院では、2017年2月の開設に向けて準備をしております。院内助産とは、正常妊娠・分娩の経過をたどる妊産婦さんを、助産師が主体となって支えお産の介助を行う、つまり『病院の中にある助産院』のことです。

正常な妊娠・出産のケアを助産師が妊婦さん一人ひとりに寄り添い「主体的にお産ができる」心と体づくりをお手伝いします。医療行為が必要なときは院内の産科医と連携し速やかに対応します。私たちは「自分らしいお産」からはじまる育児のスタートを支えます。

〈院内助産を希望される方は以下のことが条件です〉

- 院内助産に本人・家族が同意している
- 逆子（骨盤位）ではない
- ふたご・みつごではない
- 帝王切開をしたことがない
- 合併症がない
- 胎盤の位置に問題がない

※この他状況によりその方に合った病院を紹介することもあります



妊婦健診について

***2017年2月以降に出産予定の方が対象です**

〈健診のながれ〉

通常の保健指導に加え経過が順調であれば、20週以降は助産師が主体的に健診を担当します。

所要時間：1人45分程度

回目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
週数（頃）	8週	12週	16週	20週	24週	26週	28週	30週	32週	34週	36週	37週	38週	39週	40週
医師担当	○	○	○	○		○		○		○	○				○
助産師担当					○		○		○			○	○	○	

「助産外来」

助産師の健診が可能かどうか診ます

当院で分娩可能かどうか診ます

〈ご予約・お問い合わせ〉

受付時間：平日8時30分～16時30分（予約制）（時間外・病院休診日は予約をお受けできません）

窓 口：産婦人科外来 連絡先：029-354-5111（代表）

母乳育児外来（母乳と育児の相談）

***2016年7月より開始いたします**

「あかちゃんが寝ない」「おっぱい足りてるかな？」「卒乳したいけどどうしたらいいの？」など、母乳育児外来でおっぱいのトラブル、卒乳の相談、授乳のアドバイスや育児の相談などに応じます。施術時間：1回60分（問診含む） 料金：3,500円＋税



〈ご予約・お問い合わせ〉

受付時間：平日8時30分～16時30分（予約制）（時間外・病院休診日は予約をお受けできません）

窓 口：産婦人科外来 連絡先：029-354-5111（代表）

健康メモ

まめに歩きましょう

総合健診センタ 保健師 山崎真由美
人間ドック後の相談室で時々聞こえるお話、「食事はほとんど変わらないし、間食もしていない。なのに体重が増えているなんて。いったいどうして？」。

体重は食事量のコントロールだけでは維持できません。残念ながら、ほとんどの方は35歳を過ぎると筋力と基礎代謝が低下してきます。食事量が変わらなくても、カロリーを消費する力が低下するため、体重は徐々に増加します。

筋力と基礎代謝を維持するために「運動」は必要です。運動とはいってもコツコツまめに歩くだけでも効果は期待できます。毎日プラス10分歩きましょう。10分歩けば約1,000歩、普通歩きで35Kcal・早歩きで50Kcal（体重

70Kgの場合）消費できます。10分の運動でも毎日できれば週70分になります。

運動の効果は体重増加を防ぐだけでなく、生活習慣病やサルコペニア・骨粗しょう症の予防と、うつ病予防にも効果があります。心も体も健康を保てるよう、毎日コツコツまめに歩きましょう。

医師異動の紹介

診療科	氏名	異動日
脳神経外科	佐々木 司	採用（2016. 7. 1）
臨床研修医	岡本 翔太	採用（2016. 6. 1）
	奥脇 駿	採用（2016. 6. 1）
	関口 修平	退職（2016. 6. 30）
	根本 絵美	採用（2016. 7. 1）
	山本 隆平	採用（2016. 7. 1）